



袋井あやぐも学園

袋井市立袋井中学校だより



幼小中一貫カリキュラムにより自主（Iの力）と（Weの力）を育成する学園

— 自主・協同 —

～夢を追い続ける生徒の育成～

ホームページはこちら



令和7年3月21日発行

令和6年度 ありがとうございました

令和6年度もあらゆる教育活動を通して、生徒の「居場所づくり」と「絆づくり」の実践を土台にし、「ボイスシャワー」「聞く指導」を継続しながら、自分の可能性に挑戦させて、将来なりたい夢を見つけ出せるように生徒を支え、進めてきました。また、学校行事では、保護者の皆様の御理解と御協力により、予定されていた行事を無事に行うことができました。ありががとうございます。来年度も、どうぞよろしくお願いいたします。

【令和6年度修了式 校長式辞】

昨日、第78回袋井中学校卒業式があり、3年生310人が卒業しました。小・中学校の義務教育9年間を経て、袋井中学校から自分の選択した次のステージに4月から歩んでいきます。本日は修了式です。修了式とは、該当学年の学業が修了したことを記念する式です。皆さん全員、次の学年に進級です。進級おめでとうございます。来年度、4月から一つ上の学年に進みます。

さて、令和6年度、昨年4月の始業式、入学式では、新年度にあたり2つ話をしました。一つは、県内でも生徒数が最も多い学校の一つであることです。その分、一人一人の頑張りを期待していること、大規模な学校の良さを生かそうということでした。もう一つは、袋井中学校の校訓「自主」「協同」についてです。自分で考え努力を続けるという「自主」と、人のために汗を流して行動する「協同」です。つまり、自分で考えて判断し行動することや、周りの人と協力していくことが大切であることです。この1年間どうだったか、各個人でよく振り返ってみてください。

次に各学年生徒に話をします。

【1年生】学校を「楽しく」するために様々な活動に積極的に取り組みました。また、自分らしさを学級の中で発揮し、集団の中で生かすことができました。来年度は進級して2年生となります。上級生として新1年生の模範となる行動を期待しています。具体的には、次に何をすべきか、これをしたらどうなるのか先を見通す力と自分の良さを自分で知ることができるようになってください。

【2年生】話を真剣に聞くことができるようになりました。精神的に成長した証拠です。また、意欲的に授業に取り組む生徒が増えました。素晴らしいことです。来年度は、学習への取組、部活動、行事での取組を引き続き頑張るとともに、最上級生としての自覚を身に付け行動してほしいと考えます。期待しています。

最後に、1、2年生全員に話をします。明日から春休みに入りますが、令和7年度も一人一人が自分の目標に向かって、困難なことがあっても自らの力で前進していくことを期待し、令和6年度修了式の言葉とします。

袋井中教育振興会事業 今までありがとうございました



【教育講演会(11月21日)】



【芸術鑑賞会(11月29日)】

教育講演会では、パラリンピック車いすラグビー選手の若山英史さんから貴重な話を聞くことができました。夢に向かって努力し、日本代表までに登り詰めた若山さんの話を聞き、将来なりたい自分を見つけ、自分の可能性を信じ、挑戦していくことの大切さを実感できたようです。

芸術鑑賞会では、雷門音介さん(落語)、科鏡味仙志郎さん(色物)、柳亭燕路さん(落語)による「学校寄席」が行われました。落語家の一つ一つの仕草や表情に引き込まれていました。生徒にとって、普段、生で見ることができない古典芸能に触れることができ、奥深さを感じることができたようです。

また、3月10日に行われた教育振興会表彰式では、今年度一年間の中で活躍した生徒(努力賞25名・善行賞(今年度は該当者なし)・健闘賞【文化部門22名・運動部門74名】)の生徒へ賞状が授与されました。教育振興会の事業は、袋井中校区の地域の皆さんの支援によるものです。

あやぐも隊が面接官となり、受験生を応援！校内面接指導

あやぐも隊(地域学校協働活動ボランティア)の協力のもと、受験に向けて面接一斉指導が行われました。生徒からは「全く知らない方が面接官になっていただいたことで、本番に近い雰囲気と緊張感で臨むことができた」「社会人だったらという観点からの指摘があり勉強になった」「初見の方に褒めていただきモチベーションが上がり、充実した時間となった」「今、足りないことを指摘された。自信もってと励ましていただいた」「想定外の質問があって、臨機応変に答えられたことは自信になった」などの感想がありました。

